

広報

かわにし

平成 5 年 4/10 No.416

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 4月1日現在 —	
男	4,350 (-34)
女	4,415 (-32)
計	8,765 (-66)
世帯数	2,213 (-3)
() は 前 月 比 較	



手づくりで楽しい雪まつり

3月6日、7日と第7回川西雪まつりが盛大に実施され、2日間でおよそ6,500人が集い、楽しみました。

7日に実施された呼び物「仮装人間ばんば大会」には15チームが参加。タイムレースの一般女子部門ではおまつりワッショイチームが、一般男子ではクリニック川西チームが1位に。また、パフォーマンス部門ではレオタード姿の女子高校生チームが1位となりました。



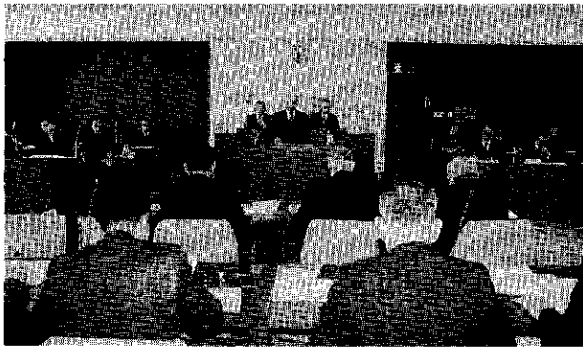
休日救急医

4月11日	第二藤巻医院(上野)	☎ 68-2018
18日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
25日	大島医院(川原町)	☎ 52-2957
29日	至誠堂医院(西浦町)	☎ 52-3276
5月2日	国保診療所(高原田)	☎ 68-2034
3日	大熊内科医院(山本町)	☎ 52-7066
4日	山口医院(下条)	☎ 55-2003
5日	池田医院(本町西)	☎ 52-2581
9日	富田医院(神明町)	☎ 52-3269

議会報告

三月二日から始まった第二回町議会定例会が、二十三日間の全日程を終わり、二十四日に閉会しました。

四日、町長の施政方針演説と新年度予算の提案説明がありました。以後、各常任委員会の調査を経て、二十四日に、平成五年度川西町一般会計と八つの特別会計などが成立しました。南雲町長の平成五年度施政方針から、その概要を紹介します。



施政方針演説をする南雲町長

川西町が、平成五年度に取り組む主要な施策と予算の概要について申し上げます。

平成五年度は、まちづくりの基本的指針である、第四次川西町総合開発計画後期基本計画の二次目にあたります。町民一人ひとりが、この町の良さを自覚し、町づくりのために、積極的な対話と活動に参加することを基調とした「今創ろう新しい川西ものがたり」を着実に進める年度であります。

このことを踏えた平成五年度の予算編成については、平成四年度に引き続き、主要事業への財源の効率的重点配分で取り組んだところであります。

平成五年度の主要事業としては、当面の目標であります「良質で快適な生産及び生活環境づくり」、「保健医療福祉のネットワークづくり」の二点であります。

以下、順次その施策の概要を申し上げます。

快適な生産・生活環境づくり

まず、本年度は、下水道事業の促進を第一に取り組む所存であります。

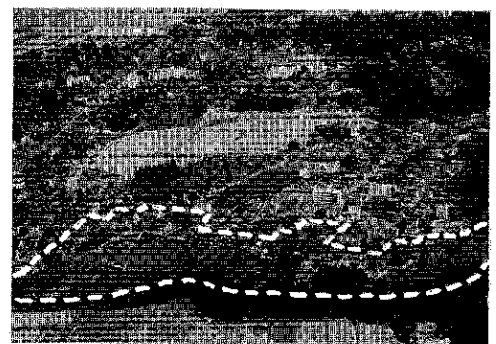
千手地区では、建設省所管の特定環境保全公共下水道事業を本年度から着手いたします。処理区域の全面積は、一四〇ヘクタール、これを三工区に区分して工事進捗の効率化を図りたいと考えております。全体事業費は約六〇億円で、平成十三年度の完了を予定しており、本年度は、第一工区三か年の初年度にあたり、事業費は九億六、七九〇万円を計上したところであります。

また、農村集落排水事業については、木落・川辺処理区が本年度をもってすべての工事が完

了、橘処理区についても、平成六年度をもって完了の予定であります。引き続き同事業により新規に中仙田・赤谷・岩瀬地区の下水道事業に着手します。事業費は一億二、〇〇〇万円、平成九年度の事業完了を目指しております。さらに、原田・根深・下原地区についても、事業採択のための調査設計に本年度から入る計画であります。

なお、集落排水事業については、他の地区も順次計画を進め、すべての事業の完了予定年次については国・県予算の動向にもよるものの、現段階では、平成十三年をめどとしているところであります。

山野田土地区画整理事業を計画されている区域（太線部分）



事業費の負担区分については、国県が七七・五％、残りの地元負担二二・五％のうち町負担は一七・五％となります。

また、継続中の坪山・長福寺沢両防災ダムの平成五年度事業費は、五億七、〇〇〇万円となっており、完成はともに平成八年度の予定であります。その町負担金として五、八〇〇万円を予算計上しております。

第三は、都市計画事業であります。中でも、山野田地区土地区画整理事業はこれを強力に進める所存であります。

下水道整備については、先行資本投資額が巨額になるため、住民各位から受益者負担金としてご負担をいただくを得ませんし、水洗便所の改造についても個々出費を伴います。さらに、工事施工箇所はそのほとんどが公道と宅地であり、住民の皆さん方から下水道整備の特殊性を十分ご理解いただき、計画どおりの工事進行を図っていきたいと考えております。

山野田地区土地区画整理事業については、町に急務となっておる優良宅地の供給対策と併せ、同地区のスプロール現象（近郊地域が市街・住宅地として飛び地状に開発され、無秩序に広がること）を少しでも未然に防ぐ必要性から、これを早期に完成させなければならぬと考えております。

第二としては、平成五年度から新たに水管理改良工事がスタートします。これは、川西ダムなど五つのかんがい用ダムの水管理一元化や克雪水利用を図るために、用水の集中管理施設を整備するもので、平成九年の完了を予定しており、全体事業費は十二億円となります。なお、

土地区画整理事業は、各種の生活環境整備事業の中でも最も関係者の皆さんのご理解をいただかなければならない事業であります。本年度の事業内容については、計画面積六・七ヘクタールに係る調査、基本設計を計画しております。このため五七〇万円の予算を計上し、平成六年度には宅地造成工事に着手したいと考えております。

保健医療福祉のネットワークづくり

まず、懸案でありました特別養護老人ホームを老人介護支援センター併用の形で本年度建設の運びとなりました。これは、県が平成五年度に県内七か所に設置する内の一つにあたります。

総事業費は、九億六、四〇〇万円、社会福祉法人あかね会の事業として工事をします。町は、その建設費として国県の補助金を除く金額を、単年度補助金としてあかね会に助成するものであります。当センターは、小規模特養として位置付けられるものであり、収容人員については定員三十人、ショートステイ八人となっています。

その他の主要施策

農業振興対策

町の農業振興は、総合開発計画後期基本計画において、生産組織の整備強化を農業後継者対策も包含した形で、重要課題と位置付けています。このことから、平成五年度は農業費の予算額を前年度より二十％伸ばし、三億八、五九三万円計上し、施設整備の計画目標を更に進める所存であります。

増額した内容については、生

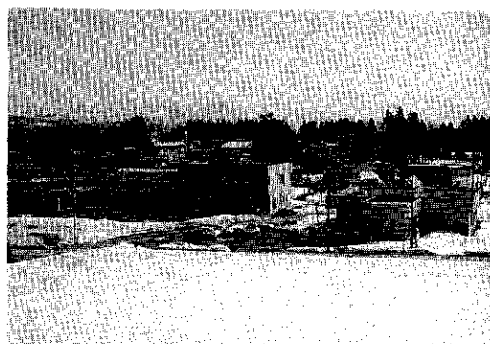
なお、建設予定地については、

クリニック川西及び四月から業務を開始する老人デイサービスセンター「ファミール川西」と同じエリアの中に予定しております。これは、住民の皆さんの利便性と併せ、同一エリア内の各施設に相互に有効な関連性を持たせ、相乗的な施設機能をフル発揮させるためであります。このことにより、医療福祉の拠点づくりを図っていきたいと考えております。

また、これを機会に、診療所医師を増員して保健医療福祉のネットワークづくりを一層進めたいと考えておるところであります。

産組織の作業受託の増加や施設の老朽化、人出不足などに対応した機械施設の充実整備を図るため、農業農村活性化農業構造改善事業をはじめとした、国県補助事業の積極導入によるものです。その主なものは、橘ライスセンターの増設改築事業、仙田ライスセンター建設事業、大型防除機導入事業であります。水田転作については、五年度から「水田富農活性化対策事業」がスタートします。この水田転

ます。さらに、診療所が大幅に施設機能を整備、拡充したことから、仙田へき地出張診療所をクリニック川西の仙田出張診療所として再編成し、仙田地区の皆さんから本院での受診の機会を設定するなど、診療体制の強化をする方針であります。



拠点となる診療所(左)とデイサービスセンター

作については、地域間調整の徹底した活用を図って、水稲作付け面積の確保に努めたい所存であります。

人づくり及び地域振興対策

真の地域づくりは、まず、人づくりからであります。優秀な地域リーダーの育成については、あらゆる施策を通じ積極的かつ継続的に取り組む必要があります。その一環として、奨学資金の一層の充実を図るため貸付額的大幅な増額をする計画であります。

また、生涯学習の体制も年ごとに拡充していく必要があります。すし、昨年発足した「川西ふれあいの里づくり塾」には、地域農業の中心となる後継者育成に向けて、本格的な取り組みを期待しているところであります。

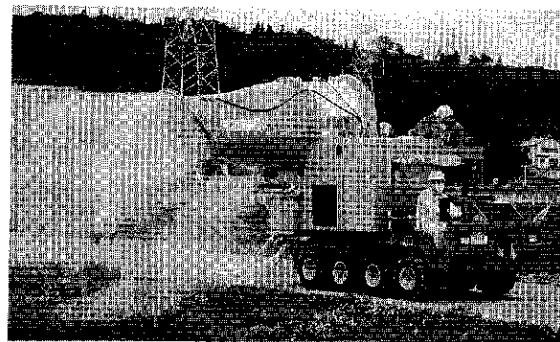
地域振興対策としては、町民の積極的な参加が不可欠の要素でありますので、地域づくり、町づくりについて、常に住民の皆さんからご意見などをいただき、それを町政に反映させる必要があります。そのために、「かわにし21委員会」を付属機関として設置し、二十一世紀を展望した町の活性化について検討し

行財政の考え方

平成五年度から、役場においては完全週休二日制をスタートします。この実施にあたっては、住民の皆さんに行政サービスの低下があつてはなりません。そのことを職員全員意を新たにしておるところであります。

町の財源状況については、これまで町議会をはじめ町民各位のお陰をもつて着実に安定し、かつ好転してまいりました。

しかしながら、現在展開しております下水道整備、医療福祉対策事業をはじめ、都市計画、産業振興、克雪、教育文化などに今後とも巨額の財政需要が見



防除作業で期待される大型防除機

てゆきたいと考えております。また、地域コミュニティ活動の推進については、中仙田コミュニティセンターの建設を予定しております。

込まれるものであります。

従いまして、これらの財政需要に積極的に対応するため、綿密な財政計画に基づき、なお一層の行政改革と効率的財政運営を実施してゆかなければならないと考えております。

今、時代の進展に伴い、行政の多様化、複雑化、専門化が求められています。こうした状況の中にあって、川西町に暮らすことに誇りが持てる町づくりを積極的に進めていくため、今後とも献身努力をしてまいる覚悟であります。

総括 質疑

三月議会定例会は、二十四日全日程を終了し、閉会しました。
今回の議会の中から、二十二日に実施された、総括質疑の概要をお知らせします。(質問順に掲載)

魅力ある商店街づくりを

上村 広治 議員

- ① 都市計画策定と中央商店街づくり及び共同店舗問題について
- ② 共同店舗の位置と中央商店街形成の基本的考え方は
- ③ 町の街路づくりの基本はいつ完成させる見通しか
- ④ 都市計画と商店街の高度利用化、核となる施設と快適な歩行者空間などの確保をどう関連付けてゆくのか
- ⑤ 山野田土地区画整理事業推進のため、避けて通れない悪臭対策をどう考えているのか
- ⑥ 毎年、東京の商店街で開催するイベントを単発的にせず、山村留学や町イベントとの持続的な交流の場にするため、もっと行政でこ入れができないか
- ⑦ 節黒城跡森林公園の水道・電気施設の整備見通しは

南 雲 町長

いない。しかし、できるだけ十日町市寄りに造る方が有利に作ることができるので、山野田の埋め立て造成地に選定しているようである。

また、中央商店街形成は商工会が自ら検討されて、商店街振興の道を模索していただきたい。町でも平成五年度中に「地域商業振興構想策定事業」の採択が受けられれば、行政としての商業振興マスタープランを策定して、今後の指針にしていきたい。

(2) 平成五年度末の都市計画決定を目標に手続きを進めており、県・十日町土木事務所など関係機関と協議を重ねている。

大塚建設課長 協議されている原案は、県道小千谷―日津南線の貝喰橋から国道二五二号線の上野交差点まで、千手市街地を通る県道の東通り、妻有大橋から農道幹線までの三路線である。

(3) 共同店舗を町の核施設として位置付け、他の公共施設との併設が可能であれば極力複数の施設



去年高円寺で開かれたふれあい広場(4.11.22)

設の集中化を図り、相乗効果を期待できる方途を考えるべきである。共同店舗構想の具体化に並行して計画をしたい。

② 町では、ゴルフ場造成に関連付けた方法で養豚場の解決を期待してきたところである。しかし、ゴルフ場問題が一時中断しているというような現状では、別途解決の方法も取らざるを得ないのではないかとこの二面作戦を展開しておるところである。

養豚悪臭は、一刻の猶予も許されない問題であり、公害は、基本的には発生源である企業の責任は回避できない性格を持つものである。今後も、手をゆるめることなく進めていきたい。

③ 昭和六十二年から、町商工会で実施してきた東京高円寺でのイベント開催を見直し、ことしから三年間継続で「新潟県川西町物産店」と銘打ったイベントを、東京板橋区大山商店街で実施する予定である。町としても、

それなりの支援をし、相手の行政との交流をはじめ、夏は山村留学、冬は雪まつりに、というような形で交流の輪を広げられるよう協議を重ねていきたい。

養豚悪臭の対策を急げ

柳 藤作 議員

① 西山開発も山野田土地区画整理事業も、養豚悪臭の対策が先決。現状と今後の進め方は

② 米輸入自由化阻止行動の今後の具体的な計画は

南 雲 町長

① 山野田土地区画整理事業は、平成五年度から六年度にかけて測量調査、設計及び組合設立をして、六年度から七年度にかけて事業実施したいと希望している。しかし、この事業の成否は養豚公害の問題解決が早急の重要問題であるので、解決を積極的に進めたいと思っている。

この土地区画整理事業の成否に大きな係わりのある養豚悪臭対策については、西山ゴルフ場開発に関連する第三セクターに

④ 平成五年度中に水道水源の抜本的対策や電気の引き込みなどの経済的方法を調査し、できるだけ早い機会に施設整備が実施できるよう研究してまいりたい。

よって、豚舎の移転による地域の悪臭解消を図ろうと、取り組んできたところである。しかし、急激な日本経済の落ち込みにより、一時中断を余儀なくされている次第である。

養豚悪臭対策の今後の進め方としては、西山開発の再開をただ待つということではなく、養豚農家の自覚と自助努力を促しながら、移転の方向で融資制度や補助事業の導入などについて研究をしていきたいと思っている。

② 国では新農政プランを公表し、県でも農業農村整備事業長期計画を示したところである。これらの計画には、日本国民の主食である米の自国内生産の確保が前提になっていると確信しており、今後とも農業者及び農業団体と歩調を合わせて反対運動を展開していきたい。

高校周辺の環境整備を図れ

羽 鳥 力 夫 議員

総合体育館を発着点として、サイクリングロード兼ランニングコースを建設してはどうか。また、川西高校西側に文化施設

設かスポーツ施設を設置する考
えはないか

南 雲 町長

サイクリングロード兼ランニ
ングコースは、交通安全対策や
土地利用に加え、同様な施設

モラルを尊ぶ行政の推進を

押木 貢 議員

① 下水道整備事業の未計画地域
の整備の考えは

② 命を守りモラルを尊ぶ行政の
取り組みについて

(1) エイズに対する認識の普及
と、その活動の推進に向けた
町の取り組みは。

(2) 千手中央商店街に關係する
路上駐車に対する交通安全モ
ラルの高揚と、役場前広場の
環境を図り、一般に利用させ、
門柱の移設をしてはどうか。

南 雲 町長

① 平成十三年度中には全町に下
水道が完備できるような考え
方で事業に取り組みつもりである。
予定としては、三箇地区に引き
続いて新町新田・元町地区を集
落排水事業で、室島及び白倉地
区については、集落排水事業か
小型合併浄化槽が検討中である。
なお、小型合併浄化槽は町の
条例を整備しなければならない

として、中子台地に建設計画の
ある施設との整合性もあり、検
討を加える必要がある。
また、高校周辺の整備は、都
市計画や公共施設整備の中で総
合的に検討を加えたい。

ので、平成六年度をめどに準備
を進め、田戸・大倉の両地区を
含め取り組みたいと考えている。
残る高倉と小脇は、町の水道
が整備されていないところでも
あるので、しばらく時間をいた
だく中で検討したい。

② (1) 今や、エイズは世界的な
問題として、各国が重要課題の
一つとして取り組んでおるとこ
ろであり、テレビなどを通じ、
ほとんどの有識者は予防につ
いての知識を知り得ているもの
と思う。しかし、問題は児童・生
徒に対する対応である。

教育委員会においても、学校
とエイズを含めた性教育のあり
方を検討中で、指導方針の確立
に努めているところである。

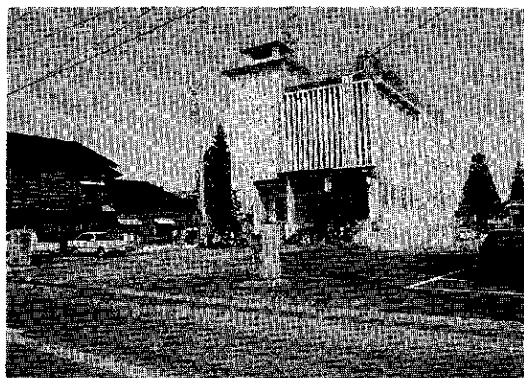
一般若者に対しては生涯学習
を通じて、一般住民に対しては
パンフレットの配布や、広報紙
を利用して、正しい知識の普及
に努めてまいりたい。

(2) 運転者として守らなければな
らない基本的な心構えの欠陥に

よるものと考えられる。交通ル
ールが守られない実態を直視し、
交通安全意識を高めながら関係
機関と連絡を密にし、安全快適
な通行が確保できるように努め
てまいりたい。

また、公共建物の駐車場は、
その施設の利用規模に応じて駐
車スペースが考えられているの
で、それを一般に広く利用する
ことにした場合、特定の人たち
が長時間専用にするこへの懸
念や、本来の目的に沿う使用が
できなくなる可能性がある。

役場門柱については庁舎前の
美観も考え合わせ設置したもの
である。また、門の両側にフラ
ワーボックスを置き、ハトやさ
んな側に屋根付きのバス停留所を
設置するなど、環境を整えてい
きたい考えである。



広く整備された役場前駐車場

特色ある活性化事業を起こせ

南 雲 教 議員

① 山村留学事業を土台に、さら
に広げた交流事業ができないか。
また、家族で楽しめる施設づく
りや姉妹都市提携の体制づくり
ができないか

② 放棄水田防止の取り組みにつ
いて

(1) 今後の取り組みはいかに。
(2) 立地条件の悪い農道の整備
に高率助成ができないか。

南 雲 町長

① 地域活性化や地域おこしは、
その地域の自然条件や有用資源
などについて、地域の皆さんで
アイデアを出し合い、創造して
いただく中で新しい試みに取り
組んでいただきたいと思う。そ
うした活動については、町も積
極的に支援協力をしたい。

なお、姉妹都市づくりなどに
よる地域間交流は、地域の活性

荒廃田の復旧・活用はいかに

金子 澄 男 議員

今後、ますます進む荒廃田へ
の対応と、その復旧・活用をど
のように取り組むのか

南 雲 町長

強力な国の施策のない限り、
極めて難しい問題である。私ど
も山間地を抱える行政が中心に
なって声を大にして、改めて立
法を考えていただくといいぐら
いの姿勢が必要と思う。

化のためには大切な要素である。
幸い、山形県東置賜郡川西町と
の間で商工会婦人部同志の交流
が始まっており、今後は事務レ
ベルなどにおいて具体的に交流
目的などを研究し、相互交流を
してまいりたいと考えている。

② (1) 現在、山間地の農地を保
全する方法として進めているの
が、農地の売買や受委託をあつ
せんする農業公社設立が市町村
で検討されている。しかし、町
の現状においては、この制度だ
けでは根本から解決できる問題
ではなく、抜本的な対策に向け
た運動を、今後強力に展開して
いきたい。

(2) 小幡農林課長 町単独として
農道の新設及び改良に対して三
十%、舗装に対しては四十%の
助成をしている。今後、立地条
件の厳しい所については、採択
基準、補助率などを検討したい。

養豚悪臭を一掃して土地整備

柄沢 悌二 議員

山野田土地区画整理事業推進に係る養豚悪臭対策と、西山開発の第三セクターが実施する建設計画の今後の対応を聞きたい。

また、山野田土地区画整理事業は組合事業でなく、町直営でできないか

本的には変わっていない。

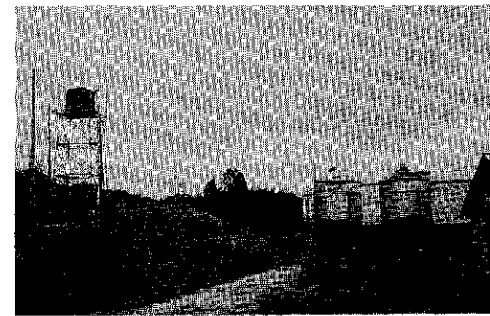
また、第三セクターの事業が再開されても、設立の問題や事業の中身も根本的に見直す必要が生じるのではないかと思う。

そして、養豚団地対策だけに的をしぼった対応を、第一段階として取り組んでゆくべきという考え方で話し合いを進めたい。

南 雲 町長

バブル経済の崩壊のあおりで、民間開発資金の貸し出しの凍結によって、開発計画が一時中断している。しかし、ゴルフ場開発計画と養豚団地の移転を含む、第三セクターの開発計画は、基

この西山開発絡みの養豚悪臭対策と並行して、土地区画整理事業を早期に完成させたいという基本姿勢であり、町としても開発企業者の対応をいつまでも待つておるわけにもまいらない状況を踏まえて、畜産振興と環境対策の両面から具体的な検討



千手養豚場に設備された消臭水施設(2.10.5)

を進めてまいる所存である。

土地区画整理事業は組合営の方で国の補助率が高いということから、関係者の負担の軽減や、ほとんどの事務を役場がお手伝いするというところの中で、関係者の皆様方とも協議して、この結論を出したところである。今の時点では、町直営方式に変更するということは考えられない。

嫁・婿対策を進め町づくり

戸田 哲次 議員

① 特別養護老人ホームと保育園の世代間交流によるふれあいづくりに対する考えは

② 嫁・婿対策の現況と人口増に向けた考えは

南 雲 町長

① 今日の核家族化といわれる家族構成形態からみると、お互

いが積極的な交流を深めることによって、お年寄りには生きがい、幼児にはお年寄りに対する尊敬の念を養ってあげればと期待しているところである。

両施設が、有機的に連携を持ち、交わりを持つて理解を深めることこそ、福祉ゾーンとして、一つのエリアの中に複合的に施設の設置が図られたことの意義があるものと確信している。

② 人口問題については、大きな課題として取り組んでいるところである。人口減少の要因としては、未婚の状態で年齢を加えていくことや、少児化減少が著しいことなどが挙げられる。

人口増への具体的な手段としては、例えば山野田区画整理事業による宅地開発、また、奨学金制度や保育料の減額措置などは消極的ではあるものの、少児化対策の一つといえる。

このような社会減少は単なる

個々の手段で解決される問題でなく、総合的対策として講じられなければならないので、今後

も積極的に対応していきたい。

小川教育次長 昭和六十一年四月に家庭相談係を設置し、結婚問題を中心に取り組んできたところである。以来、国際結婚としてまとまったカップルは十三

組となる。

また、去年三月には七人の家庭相談員を設置し、各地で各種相談活動にたずさわってもらっている。近々、三十才以上の单身男女に対し、結婚希望などのアンケート調査を実施して、それぞれの希望に沿った相談活動を展開してまいりたい。

複合住宅で多目的活用を図れ

清水 進 議員

① 都市計画の用途指定地域に向けた現況と、特定環境保全公地下水道の事業との同時施工ができないか

② 増える老人世帯、不足する町営住宅、進まない共同店舗などを効率的に一体化した複合住宅建設に取り組めないか

南 雲 町長

① 町都市計画区域二、六五〇ヘクタールのうち、千手地区一〇ヘクタールの用途地域を指定し、平成五年三月に都市計画決定を予定していたところである。

しかし、四年六月に法律の一部改正があり、新用途地域の適用を受けることになった。そのため、五年度中に原案を見直し、六年二月に決定をしたい。

② それぞれ個別の制度分野で合築を考えると、いろいろ制約があり、負担区分や構造などの内容調査も相当難しい面があるようである。しかし、関係各課で検討し、関係機関とも相談をして、複合住宅の整備が可能なのかどうか検討してまいりたい。

どう進めるか農業振興対策

滋野 一郎 議員

- ① 二十一世紀町農業をどのようにとらえ、基幹産業としての農業をどう育成していくのか
- ② 役場受け付け窓口以案内係の設置と、電話の取り次ぎに専門の職員を配置する考えはないか

南 雲 町長

- ① 平成三年の農業白書では、農村・農業の崩壊が起きつつあるという危機意識が示されている。

町農業発展に積極的対策を

根津健治郎 議員

- ① 町農業政策について
- (1) 米の自由化問題と産地間競争に向けた対策は。
- (2) 生産組織の若者担い手育成と、農業後継者問題をどうとらえているか。
- ② 松葉荘に米自動販売機を設置する考えはないか
- ③ 主要地方道小千谷十日町津南線改良促進期成同盟会の今までの活動経過、今後の方針、改良の見通しを伺いたい

南 雲 町長

その再生策、活性化の可能性から出発しなければならない。

現在、都会志向型の快適を求めすぎ、農村の持つ良き、地域の風土を生かした生産・生活を残した新しい快適を求める運動が必要である。また、豪雪地というハンデを負った町の土地利
用型雇用の困難性をいかに克服するか、米単一農業から施設利用型農業への発展も期待したい。
昨年発足した「川西ふれあいの里づくり塾」に、町農業農村

- ① (1) 米の自由化は、国内の価格に大きな影響を及ぼし、米作農家の存亡の問題に及ぶことから、段階的であれ、反対せざるを得ない。

また、米の産地間競争は一層激化することは必至である。幸い、町は自然条件にも恵まれ、良質米産地として成果を得ているので、今後も一層食味で勝負する姿勢を貫く必要がある。
(2) 現在、生産組織の担い手は、かなり高齢化が進んでおり、機会あるごとに若い人への経営委譲を促しておるところである。また、通年雇用や年間所得を向

活性化長期構想を諮問しており、農業立村としての基本姿勢がしめされるものと考えている。

- ② 新年度は、庁舎内の案内表示をわかりやすくするために窓口業務の集約化を図り、各窓口の対応の調整を図るなかで一層のサービス向上に努めたい。

現在使用している電話のシステムは、特定の電話交換手を置かないで、外からかかってきた場合は、あらかじめ定められた対応順に電話機が呼び出しをするシステムとなっており。イメージを悪くしない対応に処してまいりたい。

上させなければ若い人が育たないと考えておる。
生産組織は、町の農業には欠かせない重要な組織であるし、将来とも生産組織を軸にして発展を図っていかねばならぬという気持ちに変わりはなく、後継者問題についてアンケート調査の結果によると、「子供とまだ相談していない」という意見が大変多かったと聞いている。家族間での話し合いも必要。
② 松葉荘は、米の小売業者でないため、町内の米穀小売業者が松葉荘に米自動販売機を設置し、販売することになる。
採算がとれるか疑問はあるものの、川西米の宣伝や消費者の

サービスに結び付くことであるので、町内の小売業者の皆様方とご相談させて進めていきたい。

- ③ 平成四年七月に五市町村からなる改良整備促進期成同盟会を発足させ、以後、調査、合同陳情など、活発な活動をしている。町においては、原田、上野地区の二カ所の公共事業と十六カ所の県単事業を要望しており、懸命に対処している。

在宅福祉の充実を図れ

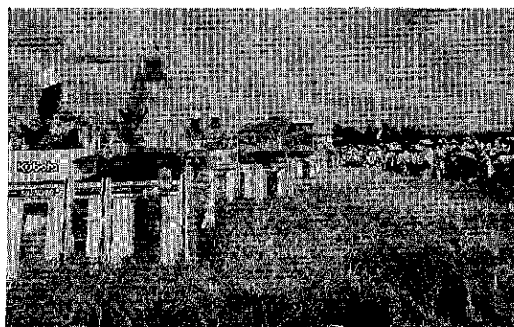
北村 公男 議員

高齢者保健福祉推進十カ年戦略について

- (1) 在宅福祉推進事業における在宅福祉サービス飛躍的拡充についての十カ年の見通しは。
- (2) ホームヘルパーの増員計画の見通しは。
- (3) 老人相談員の見直しは。
- (4) 老人デイサービスセンターで、病氣治療などを考えた配食サービスができないか。

南 雲 町長

- (1) 町では、平成四年度に地域住民ニーズ調査を完了し、内容分析に入っている。これらを基にして、十一年度までの保健・医療・福祉計画をまとめる手はずになっておる。



去年、川西町を会場に実施された「新潟米みのりの秋フェスティバル」(4.9.7)

- (2) 現在、常勤二人、パートヘルパー四人で頑張ってもらっており、五年四月からは、常勤ヘルパー一人を増員したい。
 - (3) 現在、町単独事業として一人の方を任命しており、町内を巡回していただいております。しかし、その実態を見ると、必ずしもその目的が十分達成せられていないか、再検討の時期にきていると考えられる。
 - (4) 通所事業を軌道に乗せるべく円滑な運営を目指しているところであり、当面は、訪問事業は考えていないところである。
- また、病氣治療を目的とした給食サービスは、デイサービス事業が良いのか保健婦活動の一つとして対応すべきか、十分検討して対応していきたい。

第7回

川西

カメラ
ルポ

雪まつり

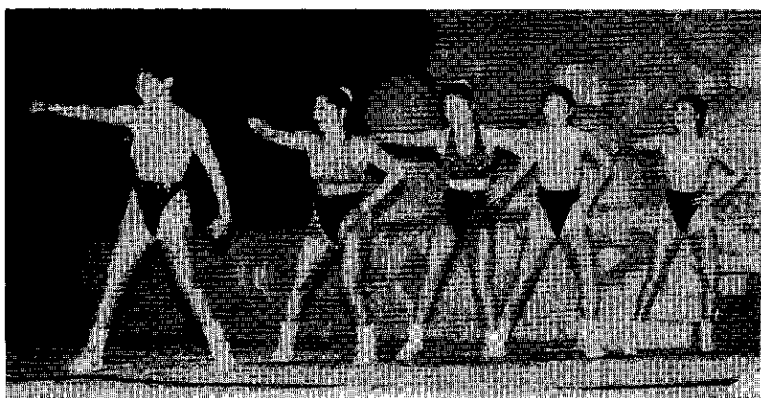


▲山の斜面に描かれたハートの文字が幻想的な
雪囲気を作り出していました

三月六日、七日と第七回川西雪まつりが開かれました。
前夜祭は、総合体育館脇などを会場に、燃やせハート、エアロビクス、さいの神、海外旅行のかかった大○×クイズ……小学生ダンスフエスティバルも見逃がせませんでした。また、三千店を超える屋台の前ではお客がごった返し、去年を上回る人たちが集い、楽しみました。
七日は、角万寺スキー場特設会場で雪上モトクロスや仮装人間ばん馬大会、雪上ブレイランなどが開催され、焼塚野球場では雪上ソフトボール大会がありました。ちなみに、二日間でおよそ六、五〇〇人の人たちが参加しました。
まつりの中から、その一部をカメラで追ってみました。

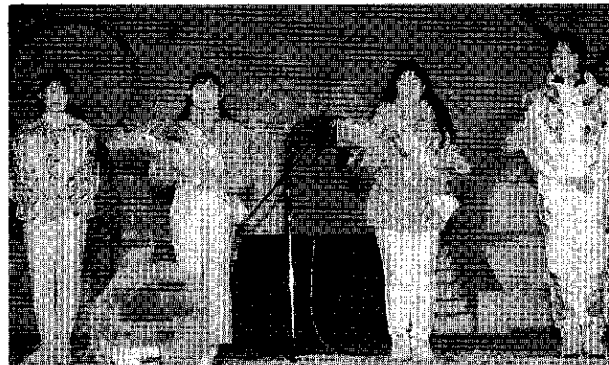


▲屋台のまわりはいつも人だかりが
できていました



▲エネルギッシュなエアロビクス

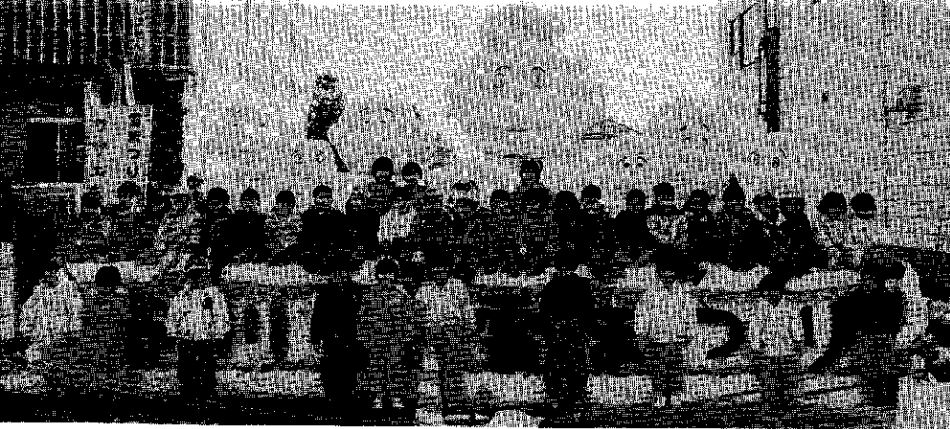
▶ミスかわにしもまつりに一役(去年ミスの小林さん(右端)と太田さん(左端)。中央二人はことしのミスの星名さん(左から2番目)と青木さん)



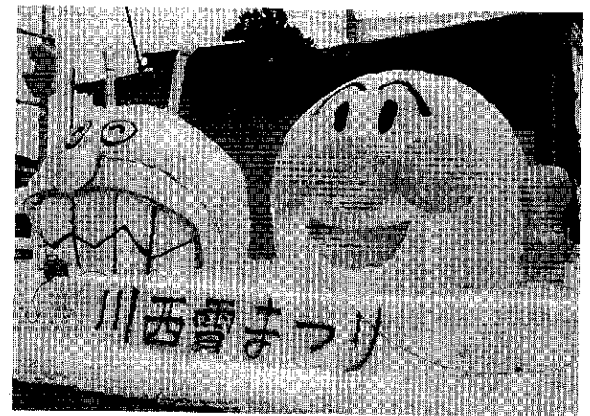
◀13チームが参加して、いろいろなパフォーマンスを見せた小学生ダンスフエスティバル

▶いろいろな手づくりリリがいっぱい。とても喜ばれていました



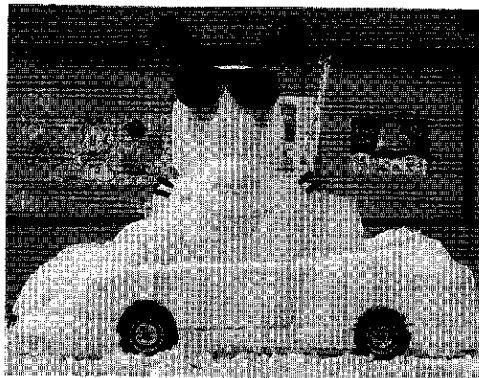


▲サザエさん（役場前）



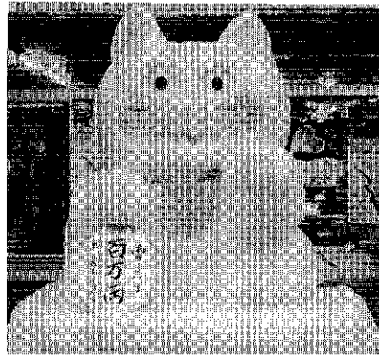
▲アンパンマンとバイキンマン
（東善寺交差点）

ことしの雪まつりは、
あちこちで雪像が見られました



▲宣伝のキャラクター（信組前）

▶まねきネコ（孫六電化前）



▲なかまの家でも入所者が雪像を作って
雪まつりを盛り上げてくれました



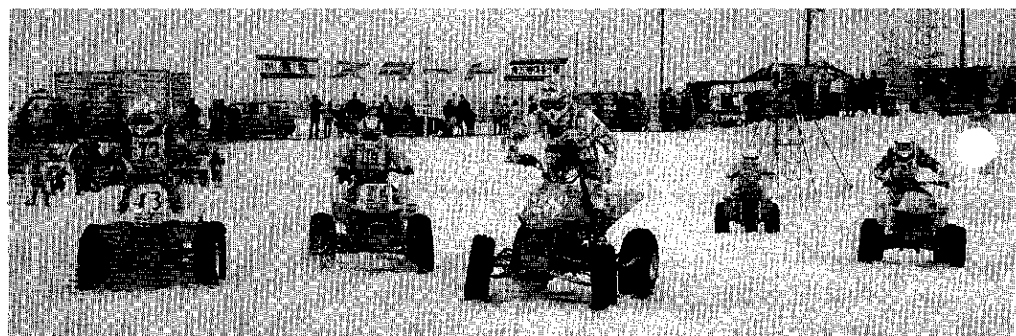
◀親子そろって風船割り
ゲームを楽しみました



◀大ゾリの試乗会



▲雪玉をぶつけてぬいぐるみを
もらおう「雪でホイ」ゲーム

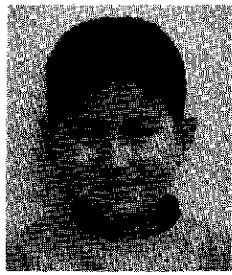


◆10部門、74台が迫力あるレースを展開した雪上モトクロス大会

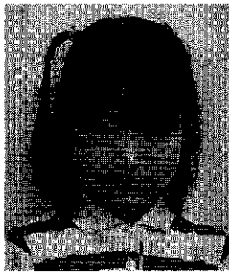


▲男子12チーム、女子3チームが
参加して熱戦が繰り広げられた
雪上ソフトボール大会

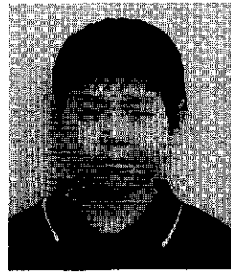




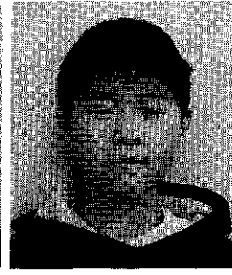
① 石川 忍
② 学校町
③ 雅巳



① 羽鳥 恵
② 中屋敷
③ 菊雄



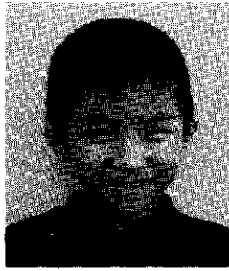
① 太田敏行
② 寺尾
③ 重敏



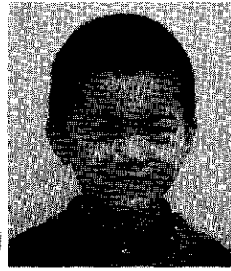
① 吉桑幸奈
② 学校町
③ 正治



① 星 佳那子
② 中島町
③ 敏夫



① 星名隼人
② 伊友
③ 和弘



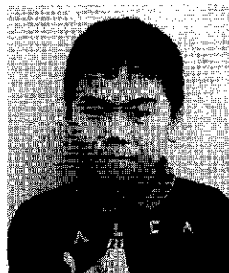
① 斎木 尚
② 朝日町
③ 茂和



① 星名千夏
② 伊友
③ 杜一郎



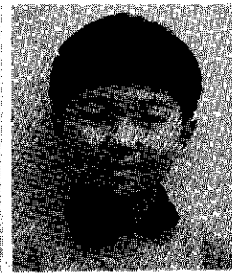
① 蔵品 環
② 木島町
③ 隆



① 樋口俊亮
② 発電所通り西
③ 恵美



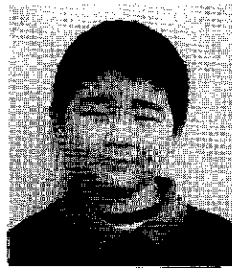
① 阿部達也
② 神社町
③ 信一



① 星名 圭
② 沖立
③ 勝



① 丸山雄太郎
② 霜条
③ 博



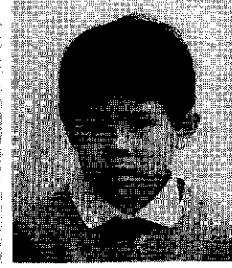
① 川上正治
② 沖立
③ 喜代志



① 高橋桃子
② 伊友
③ 十郎



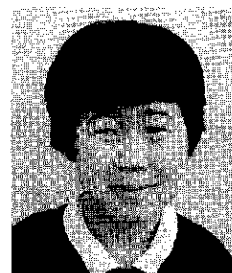
① 蔵品 南
② 四郎兼
③ 春夫



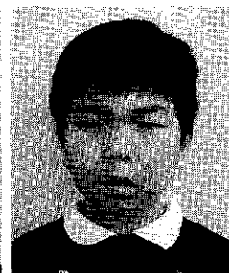
① 数藤正文
② 沖立
③ 進吉



① 星名絵里香
② 高原田
③ 哲夫



① 柄沢菜美江
② 沖立
③ 廣



① 青木朔太
② 東善寺
③ 英明



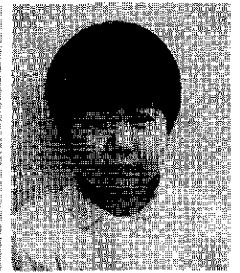
① 半藤勇輝
② 田中町
③ 公一



① 星名絵里子
② 栄町
③ 忠雄



① 村山裕美
② 高原田
③ 一男

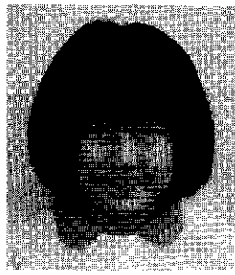


① 小林基予子
② 中屋敷
③ 良房

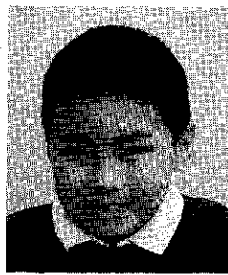
千手小学校(42人)

期待
4月から
不安
一年生

四月五日、町内の各小学校で入学式がありました。
ことしの一年生は、五校合わせて九十九人(男子五十一人、女子四十七人)です。
各学校の一年生を紹介します。
敬称略・順不同(①氏名②住所③保護者の名前)



① 市川夏美
② 学校町
③ 真



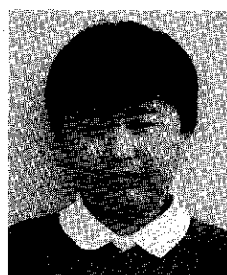
① 宮 健之
② 山野田
③ 正朗



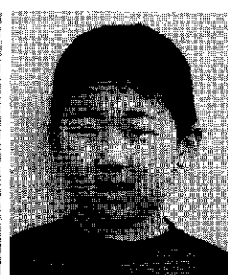
① 星名 保
② 冲立
③ 栄一



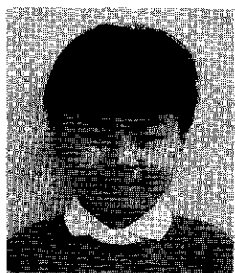
① 蔵品 恵
② 霜条
③ 久



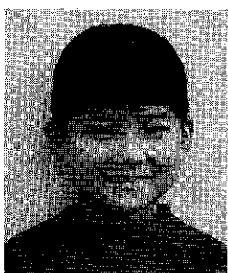
① 柄沢雄一
② 冲立
③ 幸弘



① 高橋和也
② 坪山
③ 和男



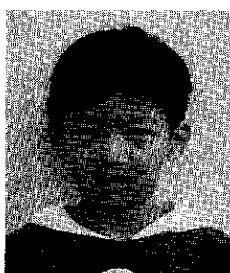
① 高橋 剛
② 田中町
③ 新一



① 平野篤志
② 四郎兼
③ 勇



① 中村香奈子
② 坪山
③ 茂



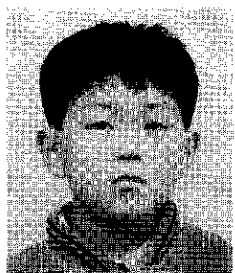
① 羽鳥宏太郎
② 中央町
③ 宏史



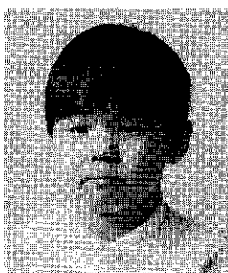
① 貴田裕明
② 伊友
③ 道雄



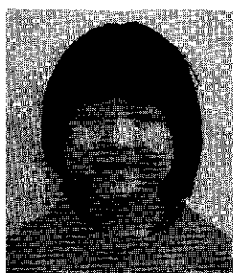
① 小林直美
② 木島町
③ 壮一



① 高橋佳広
② 坪山
③ 博



① 丸山幸一
② 中屋敷
③ 一郎



① 蔵品 梢
② 霜条
③ 正俊



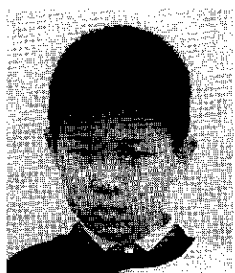
① 小海知美
② 霜条
③ 昭



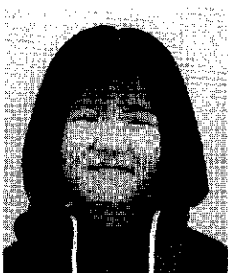
① 高橋伊久美
② 坪山
③ 弘幸



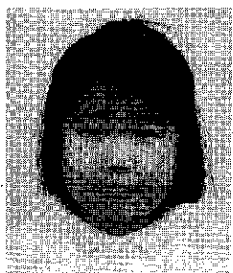
① 小林絵美里
② 中屋敷
③ 正



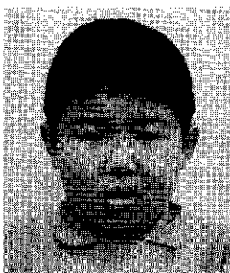
① 大島哲平
② 新町新田
③ 一夫



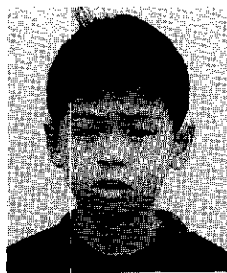
① 水品桃子
② 新町新田
③ 正幸



① 上村恭子
② 上野
③ 修一

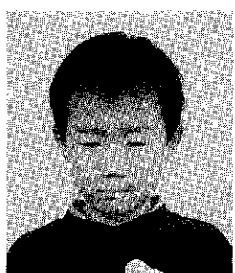


① 上村祐太
② 上野
③ 保弘

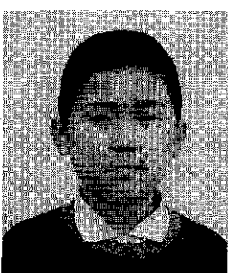


① 金子大輔
② 上野
③ 勇

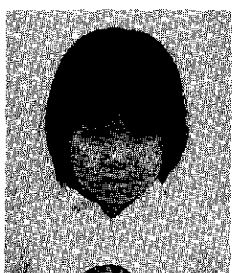
上野小学校(17人)



① 小林弘樹
② 上野
③ 光雄



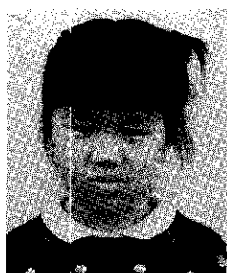
① 根津広太
② 上野
③ 徳男



① 沢口 瞳
② 下平新田
③ 則雄



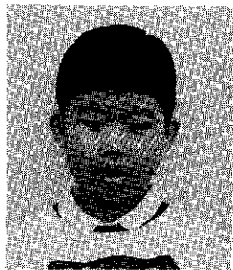
① 相崎沙代子
② 下平新田
③ 芳則



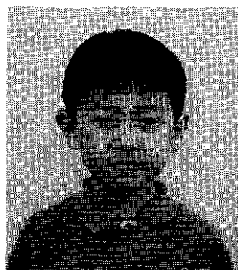
① 渡辺恵美
② 上野
③ 昭二



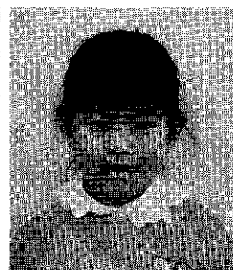
① 蔵品茉耶
② 上野
③ 守



① 斎藤準樹
② 上野
③ 弘



① 富井 一
② 上野
③ 登



① 富井 理
② 上野
③ 登



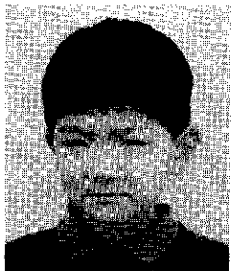
① 渡辺拓海
② 上野
③ 義則



① 桐生さゆり
② 下平新田
③ 和博



① 柄沢嘉希
② 上野
③ 和秋



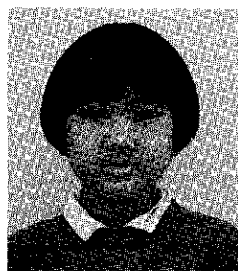
① 和久井 喬
② 木落
③ 明



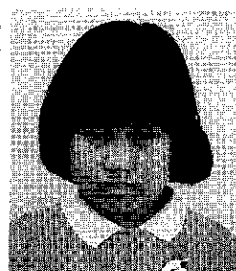
① 山田智美
② 仁田
③ 健一



① 山田貴顕
② 仁田
③ 健一

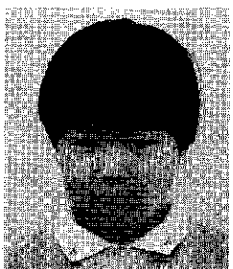


① 和久井智恵美
② 木落
③ 秀次

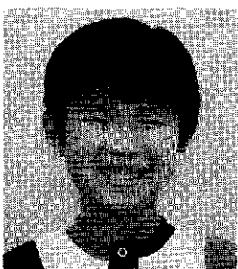


① 藤巻佳織
② 塩辛
③ 義明

橘
小
学
校
(32人)



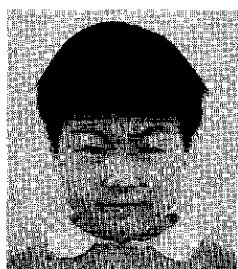
① 羽鳥真美
② 木落
③ 光男



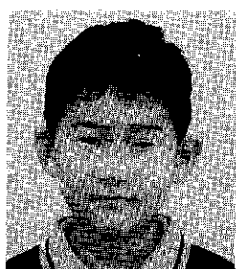
① 酒井英志
② 野口
③ 松平



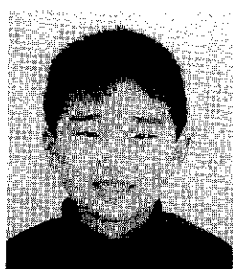
① 山崎真美
② 寺ヶ崎
③ 正



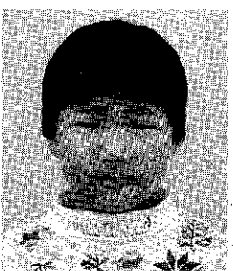
① 山口かおり
② 仁田
③ 一男



① 羽鳥雄祐
② 木落
③ 信一



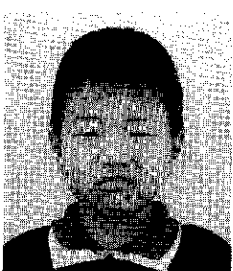
① 佐藤雅之
② 野口
③ 喜一



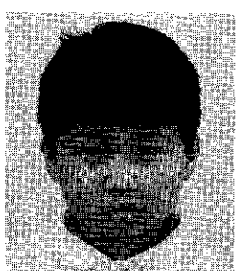
① 渡辺明子
② 仁田
③ 重義



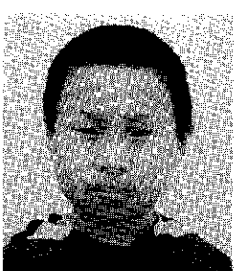
① 野沢康一
② 野口
③ 勝美



① 田口 憲
② 木落
③ 信雄



① 丸山 真
② 木落
③ 政夫



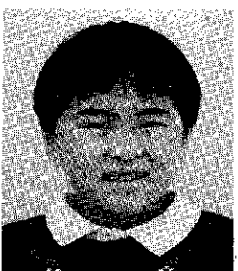
① 羽鳥康仁
② 木落
③ 健一



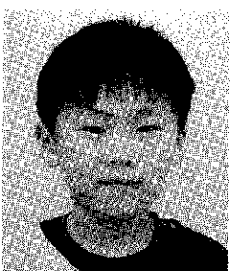
① 藤巻直樹
② 塩辛
③ 進



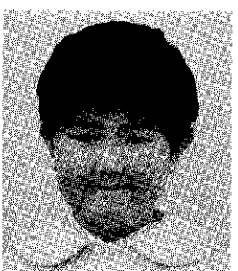
① 藤巻弥生
② 塩辛
③ 浩之



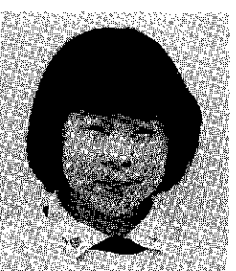
① 星名麻衣子
② 木落
③ 武夫



① 木村直樹
② 仁田
③ 喜郎



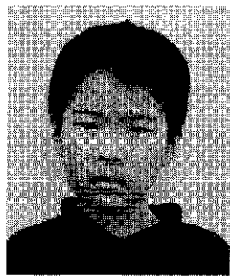
① 野沢奈緒
② 野口
③ 富昭



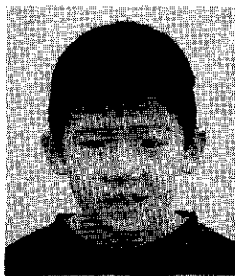
① 丸山亜由美
② 原田
③ 一弘



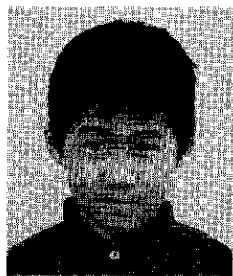
① 田中佑香
② 野口
③ 直樹



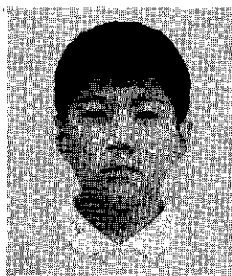
① 山家悠平
② 木落
③ 勝一



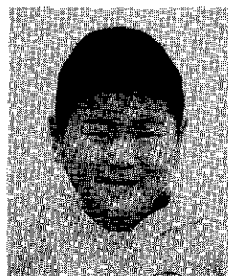
① 山家 真
② 木落
③ 実



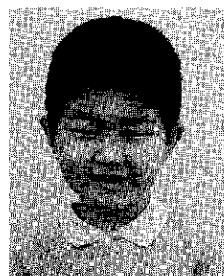
① 和久井大輔
② 木落
③ 秀昭



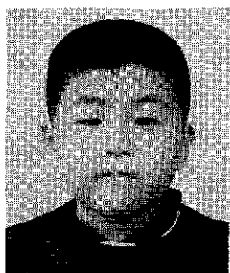
① 藤巻 繁
② 塩辛
③ 敏雄



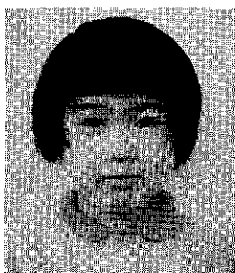
① 大久保健一
② 野口
③ 重保



① 村越翔太
② 野口
③ 勝

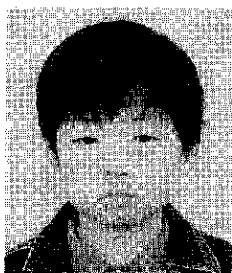


① 増田和起
② 室島
③ 裕一

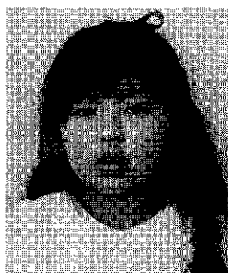


① 高橋裕子
② 赤谷
③ 良二

仙田小学校(7人)
白倉小学校(1人)



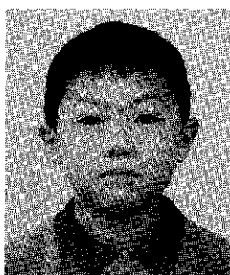
① 丸山裕貴
② 野口
③ 幸男



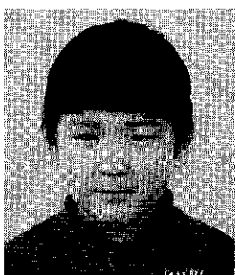
① 保坂ゆかり
② 木落
③ 達憲



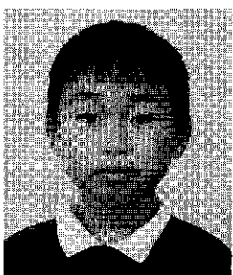
① 村越麻美
② 野口
③ 浩明



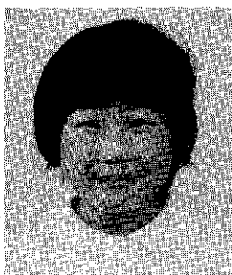
① 片桐哲也
② 小白倉
③ 勝巳



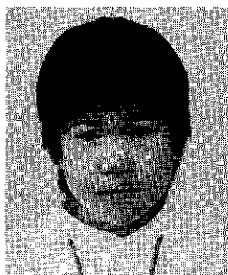
① 小林和彦
② 中仙田
③ 鏡二



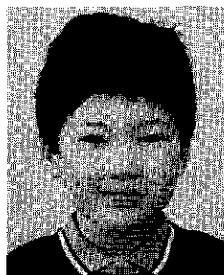
① 高橋大地
② 赤谷
③ 直人



① 南雲絵美
② 中仙田
③ 裕



① 小林圭子
② 中仙田
③ 立雄



① 小川紗与
② 赤谷
③ 睦

腰痛に要注意!

腰痛と一言に言っても原因は様々です。その中で最近注目視されているのが骨粗鬆症です。

「こつそしょうしょう」と舌をかみそうな名前で、これは、骨が大根にスが入ったようにスカスカになってしまふ病気です。

骨粗鬆症になると骨がもろくなり、骨折しやすくなります。背骨や腰の骨も少しの力で折れたり押しつぶされたりします。

これが腰痛や腰の曲がる原因になるのです。骨粗鬆症は、次にあげるような人がなりやすいと言われます。

① 高齢者で、特に女性の人

六十代で約四十%、七十代では五十%の女性が、また、男性では七十代の二十%がこの病気にかかっていると言われています。

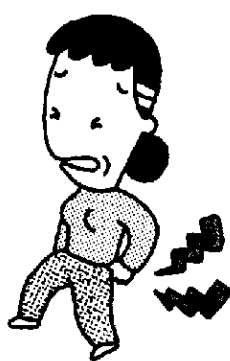
② 血縁者に骨粗鬆症の人がいる人

③ カルシウムの取り方が少ない人

④ やせている人
⑤ 運動不足で筋肉の少ない人
⑥ 胃腸の弱い人

では、どうしたら骨粗鬆症は予防できるでしょう。一番大切なのはカルシウムを十分取ることです。牛乳・小魚・海藻・大豆製品・緑の濃い野菜をバランスよく食べましょう。そして、運動をしたり、日常生活の中でこまめに体を動かしたりしましょう。運動の刺激が骨を太く丈夫にします。これらのことは、二十代、三十代のうちから心掛けてもらいたいことです。若いころからの積み重ねが、年をとってからの健康につながります。

骨粗鬆症の外に、もう一つ気をつけていただきたいのが姿勢です。家に大きな鏡があったらじっくり自分の姿勢をチェックしてみてください。背中が丸くなったり背筋が曲がったりしていませんか。姿勢の悪さから腰痛が起き、骨に障害が出てきます。日ごろから鏡や窓ガラスに映る姿に気をとめて、正しい姿勢をとるようにしてみてください。姿勢が悪く、気が持たず若々しくなくなり、体調も良くなってくると思いますよ。



仙田村の学校問題⑨

岩瀬 金子 幸 作

高倉と田戸が怒る

仙田村会が高倉校と田戸校の廃止を議決したことで、現状維持を強く訴えてきた両校区民の怒りは心頭に達した。中魚沼郡長は、当初、高倉分校は四年生までを収容して五、六年生は室島の本校に通学させたい意向であった。ところが高倉はこの諮問を承服せず、これまでどおり六年まで収容することを県が認めてくれるなら、不本意ではあるが分校に格下げされてもやむ

を得ないというハラで本校の存続を訴える。そのいきさつはいずれあとで述べることにしたい。

上野校へ越境入学

田戸校区も廃校に絶対反対の態度をとったが、県と村は中仙田校に至近であることを理由に田戸の願いを入れようとせず、四年生以上は中仙田校に通学させなさいと強硬であった。

もはやこれまでと判断した田戸校区は、ここに至ってはやむを得ないからと、中仙田校への通学拒否を決めて上野村に越境入学させる措置をとり、これを受け入れた上野校は大正十三年四月から一学級増となる。

中仙田校を嫌う親たちの中には、下田戸から藤沢経由で室島の仙田校に通学させる人もあった。旧仙田校沿革誌大正十三年九月一日の記事に、「田戸部落ノ児童十二名室島部落ニ寄宿シ本校ニ転入ス」とある。

青木正善氏の回想

町田市の青木正善（田戸の旧主立）さんから、およそ次の貴

重なお手紙をいただいた。田戸尋常小学校は大正十三年の一学期まで独立校で、越ヶ沢の児童と一緒に学んでいた。村の教育行政は子ども心を知る由もないが、二学期から田戸校は分教場となり、高学年は、中仙田小学校へ通学することになった。しかし、中仙田集落との意地や感情のわだかまりがあった。田戸の児童は中仙田の本校へ一人も通学せず、一部は室島の仙田校へ、また隣村の上野校へ通学し、冬季は下宿した。

思うに、田戸にはかつて県会議員に当選して県道十日町〜岡野町線の開削に尽力した押木良平あり、そのためか、明治当初は田戸に役場、郵便局、駐在所、学校が置かれており、押木良平の没後も、こうしたプライドから力の無い中仙田の下風に立つことを嫌ったようである。

仙田校で学んだ

当時の田戸は重要案件を主立の寄り合いで決めたが、私たちはムラの決定にしたがって室島のキリドシ宅に下宿して中仙田校（小野塚金次校長）に通学した。あとわずかで六年生を卒業するというある日、急に親が迎えに来て中仙田校に通うことになり、なれ親しんだ学友に別れを告げる暇もなく、私と樋口弘二

の二人だけ中仙田校に転校し、押木仲治先生の担任で辛くも中仙田校の卒業生となった。

平和もつかのま

大正十四年四月から中仙田校の高等科に入学したが、学校問題のさなかというのにめずらしく室島からも白倉からも通学して全村の児童と一緒に学んだ。同級生に岩瀬で中条秀雄、登坂士郎、赤谷で小川喜八、小川大作らがあり、補習学校の別科（三年相当）に、登坂多平治（後年の警視庁警視正）がいた。ところが、せっかく一緒になった高等科がたった一年だけでくずれてしまい、村中がふたたび凶悪になって田戸の児童は中仙田校へ行かず、尋常科も高等科も上野校へ通学した。

大正十五年に待望の県立十日町中学校が、十日町小学校の二教室を借りて開校し、仙田村から私のほかに南雲本一郎、登坂士郎、増田本家の浩夫と四人が入学した。まもなく昭和の御代となり、一村六校だった仙田村は仙田、中仙田、赤岩、白倉の四力校を中心に、学校問題をかかえたまま華やかな青年訓練所の時代に入っていく。

村長襲撃が未遂に

学校統合が具体化したとき、

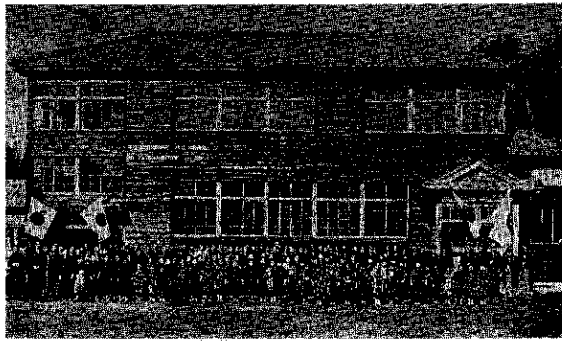
分校に格下げとなることを嫌う田戸校区民は上野校や仙田校に転入学して抵抗したが、おおかたの指示を得た登坂九十二村長は一村四校案を強く推進した。田戸校の存続をあくまでも願う校区民は、最後の手段として、この上は首謀者である登坂村長を亡き者にする以外に方法はないという結論に達した。

その結果、主立衆が相謀り、某月某日夜に村長が会議を終えた帰りを襲うことにして計画を立て、何某が襲いかかる手はずまで整えて待機した。しかし、幸か不幸か、登坂村長はその日に現われないで不発に終わったと聞いている。

学校問題のしこりは長く、いつまでも残る。私は長男と次男を、ムラの決議に反して中仙田の本校に通わせるのに苦労したニガイ経験を今も忘れない。

※先号本欄二段目の「配布」は「配分」の、五段目の「賛同する議員の少なかつた」は「少くなかつた」の誤りです。※登場者が故人の場合は、その人を歴史的にとらえて敬称を付けておりません。現存の方でも敬称を略すことがあります。※本稿をまとめるに当たり、仙田振興会の樋口虎一事務局長からご協力いただきました。

仙田分校校舎新築記念(昭和7年)
(「中仙田校のあゆ美」から転載)



善 意

(敬称略)

一般寄付

押木 耕二 (中仙田) 3万円

広報発行に

岡村ふじ江 (沼田市) 1万円

停電のお知らせ

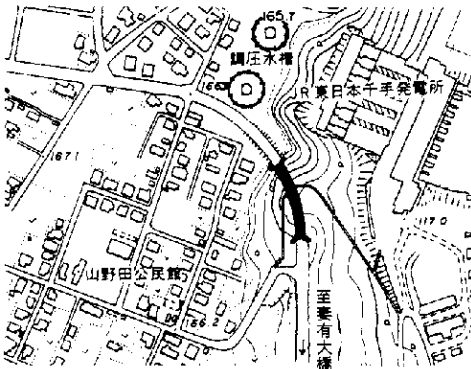
4月14日

午前9時30分～正午
東善寺の一部
上町の一部

お知らせ

4月号から、紙面構成を一部変更して、最終ページもカラーでお届けします。尚、今回は「図書室だより」は休みます。

位置図



賞品

①採用 一点 同名が複数のときは、抽選で決めます。

応募先(問い合わせも)役場内建設課あて

住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

応募方法

はがき一枚に一作品(一人何枚でも可)

応募資格

町内・外を問わず、どなたでも応募ください。

称 古峰橋の名称募集

平成6年度完成予定

締め切り 5月6日(当日消印有効)

②佳作 若干

発表

本紙に発表。本人にも通知します。

橋の概要

架橋位置

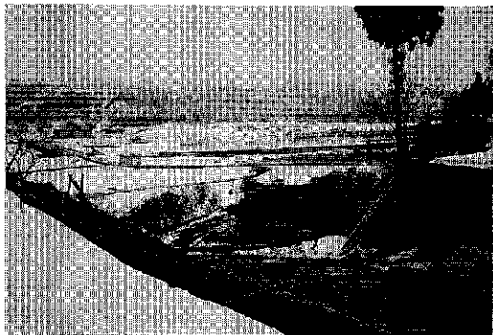
古峰神社付近から栄町

橋の長さ

八六・〇メートル

幅員

一〇・〇メートル
(車道七・五
片側歩道二・五)



橋脚部分の工事が始まっています

かわせ 俳壇

太田白南風選

雪囲い済みたる家のぬくぬくと

岩瀬 登坂伊智子

佗助の一輪咲きて春の雪

野口 野沢 静江

本堂を大きく開けて彼岸寺

山野田 藤田ひろ志

名も知らぬむらさきの花春の道

志木市 山田十久二

除雪車のひびき重たく通りけり

原田 大平 きみ

バス待ちの人皆無口返え返り

小白倉 田中 優美

春の蚊の弱々しさをじっと見る

野口 村越 由喜

御手洗の小銭光りて水温む

野口 野澤 寅生

暖冬の鉢の黄梅ちりそめし

元町 八十路

環路の光も失せし古き難

中仙田 高野仙蒼子

山峡の雪割草の咲く斜面

大倉 中条 石平

八重咲きの梅満開に陽は高く

綾瀬市 野沢ますえ

木々の枝彼岸法雪花と咲く

野口 村越 幸

長閑さや売り声流れ町はずれ

練馬区 須藤 遊人

残雪を縫ふて静かに極ゆく

伊勢原市 金子 桂吉

暗幕を掛けて葉タバコ稚苗植ゆ

高倉 斎木 和人

遠山の粧い日ごとに薄れけり

木落 丸山 詩朗

道にある影くつきりと春日和

足立区 駒形 頼太

日溜りの子守集ひし日永かな

寺尾 白井すみい

初燕雪まだ多き越の里

小白倉 江口みゆき

水音の高まりて来し春の川

上野 内山 寛平

植林の杉秀揃いて夕霞

赤谷 登坂 酔月

陽炎の野に連れだちてつくし摘む

千手 長野 キミ

実生より育て初咲き雪椿

浦和市 登坂 博史

花びらの舞い散る如し春の雪

仁田 戸田 貞

掌に受けし風花すぐに溶け

仁田 小幡しん女

消え急ぐ雪に雪虫動きおき

岩瀬 小川 益栄

ウインドの女王と咲いて胡蝶蘭

厚木市 川崎 保一

唸りては甘えて見ては恋の猫

霜条 大海 白涛

着ぶくれて呆けのごとく黙しをり

元町 金子 鉄平

猫柳活け艶やかに春めけり

新町 若山 向山

卒業の子の祝い日に桜開く

八王子市 松浦 サク

又しても降る淡雪や春隣り

上野 入沢 はや

雪どけの川の水多し猫やなぎ

新町 井川 亘

春彼岸読経流れ庫裏忙し

上野 渡辺 朝

すみれ濃し風やや寒き木曾河口

上町 高橋 願似

おぼる夜の鉄塔の灯のまた、ける

下平新田 清水きよし

淡雪の降りかかると花辛夷

足立区 涌井ハル子

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

田口 千恵 隆 治 長女 木 落

高橋 亜実 十 郎 三女 伊勢平治

野沢 晴菜 浩 和 長女 野 口

星名 萌久 徳 長女 沖 立

高橋 章 稔 二男 朝日町

平野 恭兵 一 幸 長男 四郎兼

渡貫 愛佳 文 人 長女 上 野

市川 恭征 美知子 長男 高原田

サクラ前線

桜は、日本の春を代表する花です。しかし、日本列島は南北に長いので、その開花時期は場所によってかなり違ってきます。この時期、桜の開花した地区と開花していない地区の境に線を引くと、天気図のようになります。これを通称、「桜前線」といっています。

たかきこ—ご円満に

(登坂 弘喜 赤谷 羽鳥 久仁子 木落から)

(谷井 浩也 木島 庭野 久美子 十日町市から)

昇天—ごめい福を折る

喜多 栄一 56 (本人) 東善寺

小幡 寿子 60 (正) 木落

中條 利康 67 (本人) 上野

野沢 政雄 71 (本人) 野口

五十川 庄平 82 (庚平) 学校町

野沢 栄蔵 82 (茂) 野口

羽鳥 モト 85 (徳二) 伊勢平治

清水 玉吉 87 (律子) 下平新田

羽鳥 徳市 89 (フジエ) 仁田

小海 八太郎 89 (長男) 小根岸

押木 素介 91 (美代治) 元町

小海 政晴 91 (金一郎) 小根岸

井川 ツユ 95 (勘蔵) 新町新田

(3月1日—31日届け出分)

桜の平均開花時期は、沖縄県では元日ごろ、それから北上を続け、四—五月の大型連休ごろには津軽海峡を渡って北海道に達します。一番遅い根室で五月二十日ごろに開花します。

町でも例年、早いもので四月二十日ごろ開花しています。名所としては長者が原(千手保育園裏)や川西中学校庭、仙田小学校庭がよく知られています。

ちいさな展覧会

57

橘小学校



1年 丸山ことみさん



6年 星名高子さん



2年 田中ひろのり君



3年 大久保智史君



4年 野沢麻美子さん



5年 水落信行君

※ 学年は3月当時のものです。
(5月号は仙田小学校です)